

3、考驗~英雄難過美人關(失落→節制→ending) Nana 頸上的葉子來自阿丁。

A-ku 在 Nana 宿舍前等她出來。結果，出現在 A-ku 面前的 Nana，頸項上帶著一片葉形的石頭，讓 A-ku 心頭一震。

【A1-9】

A-ku は寮の前で Nana を待っている。出てきた Nana は、首に葉っぱの形をしている石のペンダントをかけている。A-ku はそれを見て驚いく。

Nana：嗨！A-ku！	Nana：「A-ku。」
A-ku：嗨，一切都好嗎？(聲音略帶沙啞)	A-ku：「Nana。大丈夫？」(声がかすれている。)
Nana：謝謝你給我好多支持。	Nana：「心配してくれてありがとう。」
A-ku：應該的。(聲音變小)	A-ku：「いや、そんな。」(声が小さくなる。)
A-ku，你好像不太開心？	Nana：「A-ku、なにかあった？」
A-ku：哦，還好啦！沒什麼。(力圖振作)	A-ku：「いや。なんでもないよ。」(元氣なふり。)
Nana：如果身體不舒服的話，我們改天再去書店好了。	Nana：「どこか具合でも悪いの？もしそうなら、今日は本屋はやめておく？」
A-ku：沒事！書店那麼近，怎麼會有問題。(語調已平靜)	A-ku：「大丈夫。本屋もすぐそこだし、行こう。」(落ち着いた口調で。)
Nana：一個月沒上課，都生疏了。	Nana：「私、ここ一ヶ月授業に出てなかったから全然わからなくて。」
A-ku：看到家人平安，心情平靜，很快就會跟上進度了。(臉上有點笑容)	A-ku：「でも、家族が無事と分かって、良かったじゃない。勉強もすぐ追いつくよ。」(笑顔に戻る。)
Nana：你說的那本書，附了 CD，應該很有用。	Nana：「あつ、そうそう。教えてくれた本、CDも付いてたの。役に立つわ。」
A-ku：妳又有天份，又肯努力，怎麼會學不好！	A-ku：「Nanaは才能あるし、頑張り屋だから、きつとうまくいくよ！」
Nana：可是，要進你們系上唸書，語文能力很要緊啊！	Nana：「だけど、A-kuの学科に入るには、かなりの語学力が必要でしょ。」
A-ku：別緊張，需要我幫忙的時候，一定效勞！(心想，我要接受事實。)	A-ku：「心配しなくていいよ！僕ができることがあれば言って！」(<Nanaが丁を好きだという>事実を受け入れるしかないと思いつつ…)
Nana：對了，可以見見系上的老師嗎？	Nana：「そうだ。A-kuの学科の先生に会えないかな？」
A-ku：我去問問系秘書。	A-ku：「助手に聞いてみるよ。」
Nana：也許，我應該請教系主任。	Nana：「それなら私が主任に聞こうかしら？」
A-ku：是啊，這樣資訊比較清楚。我來問問！	A-ku：「その方が情報が確かだな。ぼくが聞いとくよ。」
Nana：資訊充足的話，似乎可能就不會緊張了。	Nana：「情報が多い方が安心だから。」
A-ku：我先幫妳問，順便也收集	A-ku：「うん。それから入試情報も集めて

一下應考資料。 Nana：哇！太好了！ A-ku：這幾天，等我的消息！ Nana：感激不盡！（A-ku 想，說不定還有希望。）	おこうか。」 Nana：「本当？いいの？」 A-ku：「二～三日待ってもらえる？」 Nana：「本当に助かるわ！」（A-ku はまたチャンスがあるかとも思い始める。）
--------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

